

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉市立和庄中学校区 校番10 学校名 呉市立和庄中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	<p>目標の連鎖が経営計画の中で適切に行われており、評価可能な数値目標も明確に示されています。短期目標としての重点化・焦点化も行われており、学校外部の者から見ても分かりやすくなっています。</p> <p>一方、学校教育目標の「夢を持ち」や、ミッションの「未来を創造」という点が経営目標からは読み取りにくいので、キャリア教育等に係る目標設定が必要ではないかと思われます。</p>
目標達成のための方策の適切さ	A	<p>目標達成に向けて、進捗状況を適切に確認した取組が成されている。教育のトレンドや地域性を考慮した喫緊の課題を十分に踏まえたものになっている。</p> <p>一方で、「分かる」と「考える」の差異について整理が必要である。また、一部具体にかけられる方策があるので、実効性のあるものに変更することも考えてはどうか。</p>
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<p>適切に分析されていますが、少し過小評価されていると感じます。</p>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<p>適切に且つ具体的に方策を挙げられていると思います。</p> <p>働き方改革については、時間外勤務の多い教職員がある程度固定化されていることが分かっているのであれば、個別に仕事量の平準化や協労の意識が持てるように指導していくのはいかがでしょうか。</p>
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・メディアコントロールについては、現在の生活スタイルでは改善は難しいと感じる。保護者の認識も変えている必要があるかと思う。 ・教職員不足は重要課題ではあるが、改善が難しいと感じる。学校だけではなく県や市と連携して取り組んでもらいたい。部活動などの補助員なども検討していただきたい。 ・先生方の情報共有を徹底していくこと、生徒の前においては常に明るく振舞うことが大切だと思います。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>これまでの取組とその成果については、一定程度の評価をいただいたと受け止めている。しかし、「目標、指標の設定の適切さ」と「目標達成のための方策の適切さ」に改善の余地があると指摘いただいた。</p> <p>まず、学校教育目標と経営理念が、経営目標や指標から読み取れるように、キャリア教育に係る目標設定を「和庄中学校区スピリットに基づく生徒の育成」の短期経営目標と目標達成のための方策に、より具体的で指標と連動したものに変更する。</p> <p>次に、働き方改革については、教師でなければならない業務とそうでなくてもよい業務をさらに切り分けることや、役割分担の平準化、ICT等の活用の推進をすることで生徒と向き合う時間を確保し、働き甲斐につなげていきたい。</p>
--------------------	--